

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立成瀬小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 資料がなぜ用いられたかを理解し、解答することができる。 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができる。 思考に関わる語句の使い方を理解し、文章の中で適切に使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。 速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる。 棒グラフから、数量を読み取ることができる。 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること。 図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日しっかり食べて、決まった時刻に起床するなど、基本的な生活習慣が身に付いている。 人が困っていると、進んで助けたいと思い、人に役立つ人間になりたいと思っている児童が多い。 いじめは絶対に許されないことを理解している。 友達と協力することが楽しく、話し合いでも相手を尊重する気持ちをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科および算数科学習の重要性を理解しているが、好きでない児童が多い。 読書や新聞を読むなど、活字に親しむことに対して後ろ向きな児童が多い。 国語で解答時間が十分でないと感じていた児童がやや多かった。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】

・学習の大切さを理解している児童が多いが、好んで学習している児童が少ないことがこの結果から見る事ができた。子どもたちが興味・関心を高めて前向きに学習に取り組んでいけるよう、授業改善を進めていく。

・自分の考えをまとめ、工夫して文章に表すことに苦手意識をもっている児童が多いことが分かった。根拠をもって自分の考えを文章で表したり、説明したりできるような機会を与え、思考力や表現力の向上を図っていく。

【算数】

・図形の領域に、苦手意識をもっている児童が多くいることが分かった。空間認知がしやすくなるよう具体物などを使った授業を展開していきたい。

・問題文の理解を深めるため、大切な数値や言葉などに着目できるよう、細かい指示を与えていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

学校へ楽しく登校できるために、子どもたちを日々支えていただき、誠にありがとうございます。

1. 活字に親しむ機会を

コンピュータやスマートフォン、タブレットなどICT機器に接する機会が多くなっています。もちろんそのような機器に触れ、いろいろな文化を知ることとはとても大切なことです。国語の学習の大切さを理解している児童が多いにもかかわらず、本や新聞を読む機会はあまり多くないようです。想像力を深めたり、語彙を増やしたりするためにも、活字に親しむことはとても重要です。ご家族で読書日記をつけたり、新聞の内容を話し合ったりすることも良い機会になると思います。

2. 学習の積み重ねを大切に

自分の将来のために、学習することが重要と考えている児童がとても多いです。その考えはとても大切なことです。ぜひそのためにも、日々の努力を重ねてほしいです。学習は1日で全てを成し遂げることはできません。毎日の積み重ねがとても大切です。ぜひ粘り強く学習に取り組んでいきましょう。